

京都府商工労働観光部長と 府連専務理事との懇談会

京都府商工会議所連合会と京都府商工労働観光部長との懇談会が、10月24日に宇治商工会議所で開催され、当所からは瀬川専務理事が出席しました。

京都府からは山下商工労働観光部長、田中副部長（商工担当）、山口副部長（雇用・労働担当）のほか総合就業支援室長・産業労働総務長・経営支援課長らが、また、連合会からは府内の8商工会議所の専務理事らが出席しました。

懇談会では、京都府の山下部長が「平成21年度の施政方針等について」と題してキー・スピーチを行い、この中で、今は予算のレシピ作りの段階であり具体的な話はなかったが、府内の中小企業13万事業所を守るため頑張りたい旨の決意表明がありました。

今回の懇談会は、前半を「経営改善普及事業の見直しに関する要望」について、後半を「各会議所からの個別要望事項」について、をテーマにして2部構成で行われました。

前半のテーマについては、京都府商工会議所連合会の共通要望として、この事業の支援対象を中小事業者まで拡大し、小規模事業者施策と中小企業施策を一体的に実施することにより効率的な事業効果を図るべきとの要望を申し入れました。京都府からは、より柔軟で積極的な対応ができるように「経営改善普及事業等の実施方針」の見直しに向けて検討していきたいとの回答を得ました。

また、後半のテーマについては、瀬川専務理事から、京都舞鶴港の利用促進について「荷物の集荷」と「韓国航路の再開」の2点と、ポリテクカレッジ京都の存続に向けた取り組みについて要望しました。

【要望趣旨】

1. 京都舞鶴港の利用促進について

◎「荷物の集荷」

- ・港が機能するためには、施設整備と航路の安定、運用システムの充実もさることながら、その大前提は「港を利用する荷物を集めること」である。
- ・スーパー中枢港である神戸港・大阪港に加え、京都舞鶴港を小回りが利き、利便性が高い日本海側の拠点港の位置づけで、利用港リスト

に加えることで、京都舞鶴港を、環日本海時代に向けて「日本海側の国際物流拠点港」に育て上げることになる。

- ・京都舞鶴港が、「極東ロシア・中国東北地域・韓国などの対岸諸国と関西経済圏との、物流ルートの中継点」として機能することは、関西経済全体の景気浮揚に大きく役立つものと信じている。

◎「韓国航路の再開」

- ・今年4月から韓国航路が休止となった。この航路は京都舞鶴港の振興に不可欠な航路と認識しており、一刻も早く再開されるように更なるご支援を願いたい。
- ・あわせて、荷主の更なる利便性を高めるために、上海港など新たな航路の開設についても視野に入れていただき、京都舞鶴港における航路網の充実に向けての取り組みをお願いしたい。

2. ポリテクカレッジ京都の存続に向けた取り組みについて

- ・府北部地域にとっては、高度な技術や技能を有したポリテク京都の卒業生が企業の即戦力として活躍し、また、同校に蓄積された研究成果や設備を生かした共同研究や受託研究が地元企業との間で行われていることは、人材育成だけではなく、産業振興の観点からも、その果たしている役割は大きい。
- ・優秀な人材の確保は、企業が立地を検討する上で、また、企業が競争力を強化する上で重要な要素の一つであり、高度な職業能力を有した人材の搬出できる高等教育機関が府北部地域に存在していることの意義は今後ますます大きくなると考えられる。京都府の支援をお願いする。

以上の要望に対し、山下部長からは、港の利用促進については「阪神港との競争に勝てるよう、新たな利用補助金制度を創設し頑張っているの、皆さんのご利用を是非お願いしたい」、航路の安定・新設については「コンテナ航路に限らず、国際フェリー航路の寄港なども含めた航路誘致に精力的に努める」旨の回答を得ました。

また、ポリテク京都については「この施設は舞鶴市のみならず、府内の人材育成に重要な施設であり、必要な対応をしたい」などの表明がありました。

京都府の融資制度
に対する保証料率が

割安になるお得な制度

いきいき経営改革サポート制度

京都府の融資制度を利用される場合に、舞鶴商工会議所に事前、もしくは同時にご相談いただき、継続的に経営内容の把握・改善のお手伝いをさせていただく事により、保証料率を引き下げることができる制度です。

保証料率の
引下げ率

- 小規模企業おうえん融資（ベース枠）→ 0.3%引き下げ
- その他の融資制度→ 0.2%引き下げ ※保証料率は財務内容や融資制度により異なります。